

START!

1 学年  
4 月

すごろく  
双六式

# インターンシップ体験記

Written by Zide (情報工学科 3 年)  
<http://zaram.com/zide/> <mailto:zide@zaram.com>

数週間を会社の中で過ごし、会社とはどういうものなのかを身をもって体験する、インターンシップ。そのインターンシップに行ってきた筆者の体験を、ただ文章だけでは面白くないので双六式にして書いてみました。これからインターンシップを考えている人の参考になれば幸いです。

※情報工学科以外の学科では記述と大きく異なる可能性が十分にあります。ご注意ください。  
※十中八九筆者の思いこみによるところがありますのであまり真に受けない方が安心です。  
※この文章により何らかの被害を被っても当方は一切の責任を負いません。

※実際のすごろくはできません。

## INFO!

インターンシップが行われるのは基本的に学部 3 年・修士 1 年となります。それまではゆったり待ちましょう。ただ場所によっては 2 年でも行えるところはあるようなので、興味のある方は調べてみるといいかもしれません。

電通大では 3 年次の科目として全ての学科で設定されています。情報工学科では「自由科目」という、一応単位は出るけど卒業時に必要な単位にはカウントされないという何とも使えない扱いですが、学科によってはちゃんとした単位が出るところもありますので、学修要覧で確認しておきましょう。

3 学年  
4 月

### 説明会開催

学科ごとに行われます。聞くだけならタダですので、行く気満々の人はもちろん少しでも興味のある人は聞いておきましょう。

5 月

### インターンシップ希望表提出

### インターンシップ先選考開始

6 月  
くらい

## BAD!

希望表を出してから「きっとそのうちアナウンスがあるんだろう」と何もしないでいたら本当にアナウンスがなくて、「キョキョ行かないとまずいのかな」と思ってインターンシップ事務局に行ってみた時にはすでにかなり出遅れていた。まだ絶望的というわけではなかったけど、半数ぐらいが埋まっていて残ったインターンシップ先の中から希望のものを見つけるのは大変だった…。

## ↓ ADVICE! ↓

情報工学科の場合、担当の先生が特別忙しいという理由もありそうですが、それに限らずアナウンスがなくとも自分から積極的に動いた方がいい結果が得られるでしょう。他に公募という選択肢もありますので、それも考えて選んでいくとより柔軟にインターンシップ先が選べると思います。

7 月

## BAD!

キョキョインターンシップ事務局で斡旋してくれるインターン先の中に情報工学科に適した所があまりなかった…。

## ↓ ADVICE! ↓

他の一部の学科と違い自由単位にしかないことから、情報工学科からのインターン参加者は学科としては少ない方です。ただ近年就職に対する意識の変化がかなり参加者数が増えているようで、事務局もそれに対応すべく情報工学科に向けた斡旋できる場所を増やそうとしている最中みたいです。そもそもインターン先を選ぶのには、事務局から推薦をもらって行く方法の他に自分でインターン先を探し公募で行く方法があります。事務局に頼らず公募を狙ってみるのも 1 つの方法でしょう。

3 学年  
7 月

インターンシップ詳細決定

インターンシップ願提出

8 月

インターンシップ開始

**BAD!**

夏休みに入ったある日、事務局からインターンシップ開始日と「詳細はまた後日送ります」と書かれたメールが。でも待てど暮らせど詳細のメールが来ない。確認しようかと思ったけど前日までの数日間はお家に帰っていたこともあって結局当日になっても確認できず。直接事務局に行ってみると、事務局とインターン先との間でやりとりのミスがあって事務局は会社から私に直接連絡が行っていると思っていらしく。私はそのまま慌ててインターン先に行くことに…。

↓ **ADVICE!** ↓

これはかなりのレアケースでしょうが、事務局は基本的には 2 人体制。対してインターンを申し込む学生は約 150 人。ハッキリ言って一人一人面倒を見るのは無理ですね。このような事態も想定して自分の面倒は自分で見るようにしましょう。

**BAD!**

私の担当になった社員の方が今年度新卒で入社した新入社員で、キモキモの人もそれほど社内のごとくに詳しくなくて思っていたほど詳しい話が聞けなかった…。

↓ **ADVICE!** ↓

小さい会社だとインターン専属で人員が割けない事情もあって、こういうことも考えられますね。会社というシステムを知ることが重視したいのであればある程度以上の規模の会社にするべきでしょう。あとある程度の大きさ以上だとインターンのプログラムもきちり整っているようなので特に頑張らなくても一定レベルの成果は期待できるんじゃないでしょうか。

**GOOD!**

開発人員は基本的に私服だったのでスーツを用意しなくて済んだ！ しかも 10 時出社だったから通勤ラッシュのピークから逃れられた！

↓ **ADVICE!** ↓

私はこういう職場だったので良かったのですが、普通は職場はスーツですのでインターンの際にはその辺りも考えておいた方がよいでしょう。

フレックス制の職場は最近増えてるみたいですね。9 時出社になってしまった人は通勤ラッシュ頑張ってください。

**INFO!**

ここで私が行ったインターン先について少々。

行ったのは小さいソフトウェア会社で（HW 事業部もあるらしいけどオフィスが違うのでよく知らない）、組み込み向けの CASE (Computer Aided Software Engineering) ツール、つまり開発を手助けするツールを作っています。小さいながらも開発はかなり精力的に行っているようで、開発にあたっている人数は 20 人ほどでしたがかなりの本数の開発が並行している様子でした。

で私はその中の 1 つのチームに入り、開発の手伝いをしていくという形で 4 週間を過ごしました。さすがにコードを書くわけにはいかなかったので仕様書読んだり不具合報告したりマニュアル書いたり UML の勉強してたりしてました。

支給されるのは往復の交通費と昼食代 500 円です。500 円なのは、いつもオフィスの前に来る弁当屋さんの弁当（缶のお茶付き）が 500 円だからだそうです。

開発はけっこう現代的で Eclipse と CVS を使っていました。実際使ってるのを見たことはなかったので「へえ」と思ったり。

残業は日常茶飯事の模様。開発が佳境に近づくと更にキツいみたいで、近くの席の人が「この前の 36 時間勤務がどうこう」とサラリと話していたりしてました。

3 学年  
9 月

### インターンシップ開始届提出

**GOOD!**

社長が焼肉おごってくれた！

↓ **ADVICE!** ↓

小さい会社ならではのメリットですね。小さい会社ではあまり上下の関係が大きくないことが多いので、採用担当から直接採用に関する話なども聞けるかもしれません。ちなみに社長の車にも乗れました。左ハンドルのベンツでした。

10 月

**BAD!**

4 週間はさすがに長い…

↓ **ADVICE!** ↓

電通大の方で何時間やってほしいとかいう規定があるらしく、受け入れ先の方で特に問題がない場合は 4 週間になるようです。実際私と一緒にインターンやっていた H 大の方は 2 週間でした。ということで事務局で推薦を受ける場合は 4 週間のものがメインになると思いますが、会社によりけりですので 4 週間が長いと考える方はそのあたり入念に調べてください。公募のものは比較的期間が短いものが多いようですのでそちらをメインに考えるのもいいかもしれません。

### インターンシップ報告書提出

**BAD!**

報告書の提出日をよく確認せずに放っておいたらインターン担当の先生から催促のメールが…。

↓ **ADVICE!** ↓

一応単位にはなりますので成績を付ける関係上報告書を提出する必要があります。私のような危険な真似はしないで、インターン終了後にちゃっちゃと書いてしまい後学期開始時にはすぐに提出できるようにしておきましょう。

**GOAL!**

私のインターンシップは以上のような感じでした。これを見て、インターンをする気になった人、する気が失せた人、それぞれいると思いますが、最後に一言言っておきたいのは、3 年の夏休みは 2 か月という長い間をほとんど他のことを考えずに自由に過ごせる人生で数少ない機会だ ということ。確かにインターンは 3 年の夏休みだからこそできるものですが、それ以外にも 3 年の夏休みにしかできないものはたくさんあるはず。充実した夏休みにするにはどうすればいいか考え、その一候補としてインターンを考えてもらえればいいと思います。

ちなみに私は休み直前になってとにかく旅行に行きたくなり、結局旅行もインターンも強行した結果、インターン中の土日に新潟に行ったり会津若松に行ったりとんでもないことになりました。皆さんはそういうことのないようにしましょう。

それでは皆さん、よい夏休みを！